



第51号

今号の主な内容

- 決算審査……………①～⑥
- 一般質問……………②～⑧
- 議決一覧・補正予算……………⑦
- かつこうのさえずり/お知らせ/今後の予定……………⑧

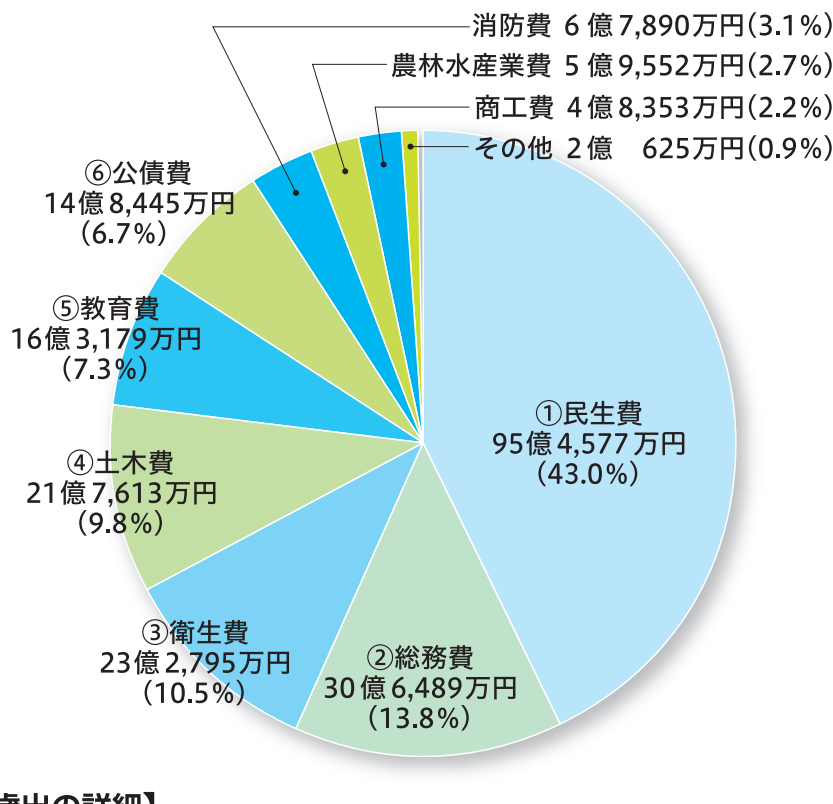
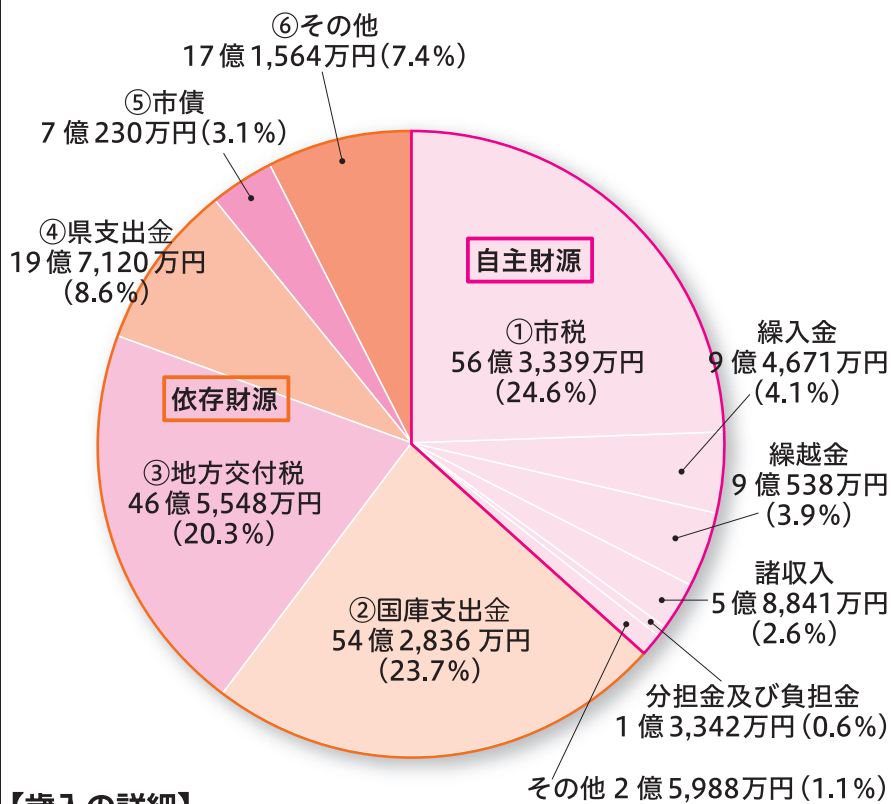
令和4年度決算を認定

審査のために設置した分野ごとの専門委員会においてピックアップされた「重点事項」と若者定住の提言反映の確認および議員個々の視点に従って審査・認定しました。

【一般会計】

歳入総額229億4,017万円

歳出総額221億9,518万円



【歳入の詳細】

項目	内容	項目	内容
①市税	市民から納めていただいたもの 市民税:27億8,955万 固定資産税:22億6,346万等	④県支出金	県から交付される資金で、特定の事業にあてられるもの 県負担金:11億5,187万 県補助金:6億9,456万等
②国庫支出金	国から交付される資金で、特定の事業にあてられるもの 【国庫負担金】 民生費負担金:18億2,161万 衛生費負担金:1億8,252万 【国庫補助金】34億1,001万等	⑤市債	資金調達のために負担する債務(借金) 総務費:2億1,899万 農林費:1,350万 土木費:4億3,930万 教育費:1,600万等
③地方交付税	財源の不足する自治体に交付されるもの	⑥その他	県に納められた地方消費税が交付されるもの

【歳出の詳細】

項目	内容	項目	内容
①民生費	高齢、児童、障がいなどの社会保障に要する経費 社会福祉費:38億9,137万 児童福祉費:49億7,682万 生活保護費:6億7,731万等	④土木費	道路、河川、公園などの整備・維持管理、都市計画等のまちづくりに要する経費 道路橋梁費:13億1,637万 河川費:1億9,619万 都市計画費:6億5,601万等
②総務費	選挙、庁舎管理や他の項目に属さない全般的な経費 総務管理費:24億9,575万 徴税費:3億4,177万 戸籍住民基本台帳費:1億1,650万等	⑤教育費	教育委員会の運営等に要する経費 教育総務費:3億426万 小学校費:3億2,498万 中学校費:1億8,339万 社会教育費:1億2,945万 保健体育費:6億7,391万等
③衛生費	保健、衛生、環境、廃棄物などに要する経費 保健衛生費:10億9,237万 清掃費:12億47万等	⑥公債費	借金返済の経費

歳入の主な審査

《市民税》

個人分の収納率増は、納付しやすい環境整備として取り組んできた「コンビニやクレジット収納」等の利用促進が1つの要因と捉えている。法人分は、早期に滞納処分して換価できたことが直接的に影響していると捉えている。

《たばこ税》

予算額は、3年度実績と3年10月の税率改正の見込みにより1,700万円増としたが、たばこの売り上げ本数が2.4%減にとどまるなど見通しが甘く、2割以上の歳入増につながったと捉えている。

《特定防衛施設周辺整備調整交付金》

約1億2千万円の歳入は、小中学校児童生徒用机イス購入事業、小中学校放送設備改修事業、小学校遊具等更新事業、公園遊具等更新事業、小岩井駅前広場トイレ整備事業など9事業に充当している。

《県支出金》

地域経営推進費は、3年度「スマートウェルネスシティ推進事業」の採択により大きく収入が伸びたが、4年度は継続事業として設定したこと、また、新規1事業の追加により減額したと捉えており、約463万円の歳入となった。

【歳出審査】総務教育分野

地域自治活動事業

Q: 地域づくり懇談会の市民活動は。
A: 自治会連合会への助成金と地域コミュニティ等の助成事業費補助金の交付が主な事業であるが、市民の活動は参画協働事業で活動を展開してきました。

地域人材育成・交流事業

Q: 交流を通じた地域への成果は。
A: 自地域への直接的な還元はこれからであると捉えています。活動的な人材が育つことで地域の活性化に繋がり、本市の価値が向上するものと考えています。

小学校の遊具などの更新工事として滝沢小学校、滝沢第二小学校、鶴飼小学校、滝沢東小学校で実施されました。
 現地視察では滝沢第二小学校の校庭にて遊具の確認をしました。

滝沢第二小学校の遊具

災害対策事務

Q: 想定災害に対する災害用物資の備蓄箇所が防災マップに掲載されていないが、備蓄場所からの輸送手段、ルート等の計画は。
A: 市役所とビッグルーフ滝沢の防災倉庫の2箇所に備蓄しており、輸送手段は地域防災計画に記載されているほか、企業と災害連携協定を締結しており、災害発生地域や規模を勘案して適時判断していきます。

消防団等活動事業

Q: 各分団維持への補助は。
A: 修繕などの経費は公費負担ですが、運営経費や消耗品は各分団で負担しており、今後に向けた検討が必要と捉えています。



地域愛着向上事業

Q: まちづくりキットを利用した子ども達の意見の反映は。
A: すぐろく形式で滝沢のいろいろな地域を知ることができることから、子ども達にとっても好評でした。子ども達の意見は今後活かしていきます。

庁舎等改修事業

Q: 旧公民館ホールの地盤調査などと本庁舎の大規模改修は。
A: 庁舎の大規模改修に向けて現在、民具保管庫として使用中のホールに大書庫の設置を検討しています。そのために床の1箇所をボーリングし、重量負荷の調査をしました。

若者定住 提言書に対する市の進捗状況をチェック!

総務教育分野

《滝沢市地域づくり活動推進補助事業》
問 事業の展開は。
答 元村地域、五龍のフジ保全事業に30万円。篠木地区、大釜駅前の賑わい創出事業に20万円。東部地域、やまゆりの里整備事業に10万円を3団体に補助しました。
問 支援職員の関わりは。
答 事業問わず11の地域づくり懇談会へ各3名、若手、中堅、総括職員を配置しています。
 《滝沢市学校教育振興協議会交付金事業》
問 コミュニティスクール実施の内容は。
答 平成30年度に「滝沢市学校教育振興協議会」を立ち上げ、令和4年度は規約の作成、委員の委嘱、委員会の開催などを手伝っています。
問 地域と学校の連携は。

産業建設分野

《公園維持管理事業》
問 公園の遊具更新の優先順位は。
答 総合公園は「滝沢総合公園施設長寿命化計画」に基づき行いました。一般街区公園は使用禁止になっている遊具を優先に、地元自治会と協議して行っています。
問 遊具の点検は。
答 年に一度、専門の会計年度任用職員が基準に基づいて行っています。
 《空き家対策推進事業》
問 空き家バンクの登録件数を増やす取り組みは。

環境厚生分野

《たきざわ出産・子育て応援事業》
問 新規事業だが、継続的支援が必要では。
答 「こどもまんなか滝沢」の市政運営に合致しているため、継続を考えています。
 《健康づくり事業》
問 ウォーキング事業の収集データの活用は。
答 効果、データは今後の事業の指標となります。

専門委員会でピックアップした事業をチェック!

《学校教育施設の老朽化》
問 学校現場からの修繕要望に対する実績および成果は。
答 小学校は要望103件中36件対応しました。ここ数年は10件前後しか要望対応できず、学校の安全安心な環境整備が図られたと捉えています。中学校は要望54件中26件対応しました。小学校同様、例年より多く対応できましたが、もともと要望が少ないため、引き続き対応していきます。
問 プール改修基本計画検討業務の具体的内容は。
答 小学校は滝沢中央小のぞく12校のプールで既存施設の劣化状況の把握、改修または撤去、新設のための概算工事費やランニングコスト

の算定を行い、改修の優先順位を選定することで、今後の改修にかかる基本計画策定の基礎資料を作成するために実施しました。
《不登校対策》
問 不登校児童生徒数の増加の要因は。
答 生活リズムの乱れや無気力、人間関係の悩みによるもの等が多く、人間関係の構築が苦手な子どもが増えているのが要因と考えます。
《中心拠点形成》
問 向新田線道路改良舗装事業の進捗状況は。
答 進捗率は約20%です。4年度に軟弱地盤対策のため、サーチャージ盛土を行いました。
問 滝沢中央スマートIC周辺および岩手県立大学周辺の土地利用にかかる協議、検討の状況は。
答 滝沢中央スマートIC周辺は、いくつかの課

の算定を行い、改修の優先順位を選定することで、今後の改修にかかる基本計画策定の基礎資料を作成するために実施しました。
 題があります。隣接する盛岡環状線の交通量の混雑度が飽和状態であり、解消に向けた道路環境整備が必要です。さらに、盛岡西廻りバイパス北バイパスの線形を見定めながら計画する必要があります。また、当地区は農振農用地で、周辺に住宅地が立地しているため、住環境への影響などの調査を十分に検討する必要があります。一つひとつ課題を解決して土地利用計画を進めていきたいと考えています。
 県大周辺の土地利用は、現在IT産業集積の拠点化をめざしており、当該地区の市街化区域の編入に向けた都市計画の変更を進め、県、盛岡市および矢巾町と事前協議を行っています。
 今後、関係機関の事前調整がスムーズに進めば、区域区分の随時見直しで、最短で6年度の市街化区域編入をめざしたいと考えています。

9月会議一般質問



○ユニバーサルデザインの街づくりについて
 ○除排雪について

問 階段の段差を識別するための色分けは。
答 市役所前の段差は3年度に黄色の滑り止めテープを施工しました。その他の主要な公共施設も状況を確認し対応します。
問 バリアフリートイレの設置は。
答 「滝沢市公共施設等総合管理計画」において、公共施設等の計画的な改修などによるユニバーサルデザインを進めていくこととしています。各施設の状態を踏まえ対応するための色分けは、
問 聞こえの悪い方の窓口対応は。
答 常時、メモ用紙や筆記用具などを窓口を設置しています。状況によっては別室で対応するなど配慮をしています。イヤホンについては必要に応じて設置を検討します。
問 小岩井駅ホームに小学生用ラインの設置は。
答 黄色ラインの内側に小学生用の待機ラインを



○盛岡赤十字病院誘致の公約について
 ○中心拠点の形成について 等

問 病院誘致の主たる根拠をハザードマップ上、危険な場所としているが、防災対策はその自治体や施設の管理者が対策すべきである。
答 盛岡市内の病院の危険性を滝沢市長が述べるのではなく、県全体や広域の医療機関の配置の観点から要望すべきは、
問 確かに最終的な判断は盛岡赤十字病院や関係機関がすることですが、市の政治信条として、市民への医療提供体制の充実を図るため、課題を提起し、本市に移転することの優位性を関係機関に訴えています。
問 優位性の一つに本市に立地する自衛隊を挙げているが、各自自治体への災害対応は平等では。
答 基幹災害医療拠点病院と自衛隊が同じ市に立地する優位性はゆるぎないものと考えます。
問 1期4年の任期では、10年から15年の内に移転

9月会議一般質問



○本市の凍害害について
 ○畜産等経営継続支援給付金事業について 等

問 4月下旬から5月中旬における品目別被害金額は。
答 盛岡農業改良普及センターと連携しながら調査を行っており、現在県で被害額を算定中です。
問 本市果樹農家の収入保険と果樹共済への加入状況は。
答 8月22日現在、収入保険加入者は8名、果樹共済加入者は13名です。
問 県の農作物災害復旧対策事業の発動見込みは。
答 7月28日付の通知により実施の連絡があり、本市でも同事業を実施する予定です。
問 滝沢市畜産等経営継続支援給付金の申請件数と金額は。
答 8月28日現在で申請件数が33件、申請金額が2120万8千円です。
問 周知の方法は。
答 対象者は大部分を把握しているため、個別に通知しています。関係団体にも事業説明を行い、



○医療・福祉サービスの担い手について
 ○安全・安心な社会資本確保の担い手について 等

問 高齢者が住み慣れた自宅などで必要な介護サービスを受けられるための人材確保の方策は。
答 介護職員の人材不足は大きな課題として捉えており、現在策定中の次期「滝沢市高齢者保健福祉計画」において、今後の動向を踏まえた対応策を検討します。
問 在宅医療の担い手となる人材確保の具体的な対応方法は。
答 今後求められる技術力を踏まえた職員の育成や技術の継承が必要と捉えており、県が主催する

【歳出審査】産業建設分野

滝沢市シルバー人材センター補助事業

Q: 加入率が年々減少しているが対策は。

A: 会員確保の取り組みとして月1回の入会説明会を実施しています。今後も独自事業および各種イベントの参加により会員拡大を図ります。

中山間地域等直接支払交付金事業

Q: 耕作放棄地の発生防止の対策は。

A: 農業委員会と連携した農地パトロールで状況を把握し、地域を守るための法人設立によるセーフティネットの構築で、耕作放棄地の解消を図っています。

地域人材育成のための事業

Q: 関係機関と連携した取り組みの具体例とその成果は。

A: 子ども向けのプログラミングワークショップを実施しました。毎回定員を超える申し込みがあり、将来のIT人材の育成に向けて関心の高い取り組みでした。



ふれあいの森がリニューアル！
開園してから30年が経ち、老朽化が進み使用禁止になっていた遊具が撤去され、新たに複合遊具1基、クライミング遊具1基、背伸ばしベンチ2基が更新されました。
現地では、急な坂道に階段や手すりも設置されていることを確認しました。

◀滝沢総合公園ふれあいの森

市道除排雪事業

Q: 除雪満足度の目標値と実績値の違いの改善は。

A: 満足度のアンケートの地域乖離は、地域ごとに異なる雪の処理の課題があると捉えており、地域と意見交換を重ね課題解決に努めました。



河川維持管理事業

Q: 浚渫対象河川には天然記念物のカワシンジュガイの生息群落があるが、対策の結果は。

A: 「滝沢市カワシンジュガイ生息調査報告書」に照らし、教育委員会に支障がない旨を確認し工事を実施しています。

水道事業会計

Q: 給水区域内人口が減っていることを確認したが、この状況の考察は。

A: 大学生の転居や入学などにより1年間で人口の増減が大きい地域であることから、調査日による偏りであり事業への影響は無いと考えます。

【歳出審査】環境厚生分野

環境保全対策事業

Q: A類型の大腸菌数の基準値300CFU/100ml以下に対する達成率80%とは。

A: 分析項目5つのうち4項目が基準をクリアしているため、80%となっていますが、取り立てすぐ心配することはないと考えます。

滝沢・雫石環境組合負担金

Q: 年々増加している要因と2市町のゴミ搬入量の動向は。

A: 維持修繕によるものです。3年度の「1人当たりの家庭系ごみ量」でみると、滝沢市571g、雫石町669gとなっています。



待機児童および既存施設の老朽化の解消を図るため、巣子保育園の移転新築工事が実施されました。
現地視察では、新園舎や運営状況などを確認しました。

◀巣子保育園内

家庭児童相談員設置事業

Q: 件数とアフターケアの実態は。

A: 新規相談受付件数74件のうち児童虐待として取り扱った件数は36件です。家庭児童相談員を2名配置しており、継続支援が必要な家庭には電話や家庭訪問などで状況確認を行い、サービス・支援につなげています。また、保育園や学校と連携を図りながら継続支援を実施しており、虐待の再発や未然防止に努めています。

育児支援事業

Q: 乳児全戸訪問事業における訪問実施割合が低下した要因は。

A: 里帰り期間が延び、里帰り先での訪問を希望する方や感染症の流行に伴い電話対応を希望する方がいたこと、また、訪問スタッフの体調管理などにより実施割合が低下しました。



前立腺がん検診事業

Q: 受診者数減少の要因は。

A: 周知方法を医療機関の受け付けや特定健診の受診票での申し込みに変更したことが要因と捉えています。

認知症総合支援事業

Q: 認知症を支援する活動団体等への予算的支援は。

A: チームオレンジの活動チラシの作成や感染対策用品、認知症カフェ実施にかかる経費など、市でも支援しました。

9月会議一般質問



市民クラブ
市議員
黒木 好子

問 働く場の充実のため、若者の指導や見本となるように、高齢者の実績と経験の活用は。

答 中小企業などでは、長年蓄積された技術や経験が若者世代に継承されることが課題です。若者の人材育成のために高齢者に期待する役割は大きいと認識しています。

問 第2次滝沢市総合計画基本計画案の「子どもまんなか滝沢」は最も求められる課題と認識する

問 「有権者の来場を待たず、新たな選挙執行を周知するチラシの作成、全戸回覧を実施し、若手県立大学の学生サークル「県大ポーターズ」協力のもと、SNSを通じた選挙情報の発信を行いました。地域ごとに異なる課題を



自由民主クラブ
市議員
村木 香織

問 市議会議員選挙における投票率向上に向けた具体的な取り組みは。

答 防災行政無線による周知および投票の呼びかけや選挙公報の全戸配布により周知に努めました。また、新たに選挙執行

問 地域除雪活動の推進状況は。

答 自治会などで除雪懇談会などを実施し、除雪に対する市民の皆さまの理解を深めることも、地域ごとに異なる課題を



日本共産党
市議員
中田 孝行

問 インボイス制度導入後、本市の免税業者への物品・工事発注の継続は。

答 基本的に地方自治体は消費税を納税する必要がないため、制度開始後もこれまでどおりの取り扱いです。

問 制度導入後の公益財団法人学校給食会や同シ

答 学校給食会は課税事業者のため従来通りです。滝沢市シルバー人材セン



市民クラブ
市議員
山谷 仁

問 日本のがん発症率と男性の死因第3位である胃がんは、罹患した人の99%がピロリ菌感染に関連しているとの報告がある。中学生、20歳、30歳と検査を行えば、感染予防につながるが、これまでのがん検診に加え、率先してピロリ菌検査を実施する考えは。

答 国立がん研究センター発表の「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン」で、ピロリ菌

問 抗体検査は、死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分なため、対策型検診としては推奨せず、個人の判断で行うべきと示されています。

問 陽性の場合、除菌やその後のフォローが必要とされ医療機関での実施が望ましいことから、市の導入は考えていません。

問 平成時代に中学生海外派遣制度があり、派遣事業が実施されていた。本市の教育的観点から、

○本市のインボイス制度の扱いについて

○放課後児童クラブへの給食提供について

○がん撲滅の一步とこの計画について

○海外、国内の友好都市など視察復活について

○投票率向上の取り組みについて

○地域除雪について

○高齢者の実績や経験、知識の活用について

○投票所の増設について

○高齢者の実績や経験、知識の活用について

○投票所の増設について

○高齢者の実績や経験、知識の活用について

○投票所の増設について

○高齢者の実績や経験、知識の活用について

○投票所の増設について

○高齢者の実績や経験、知識の活用について

○投票所の増設について

○高齢者の実績や経験、知識の活用について

○投票所の増設について

○高齢者の実績や経験、知識の活用について

○投票所の増設について

○高齢者の実績や経験、知識の活用について

○投票所の増設について

令和5年9月会議(9月4日~28日) 議案10件・諮問2件・認定7件・付託陳情1件・発議1件

★可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の間合せは議会事務局へ。

Table with 2 columns: 議案番号 (e.g., 議案第1号) and 内容 (e.g., 5年度一般会計補正予算(第5号) 465,953千円)

結果表: 賛成/反対の票数を議員名(奥津一俊, 菅野福雄, 藤原治, 佐藤澄子, 柳橋好子, 日向裕子, 安部理絵, 川口清之, 村木香織, 日向清一, 仲田孝行, 小田島清美, 相原孝彦, 藤原明, 山谷仁, 鎌本桂, 井上仁, 遠藤秀鬼, 日向清一, 稲荷場裕, 角掛邦彦, 表決議員数)と合わせて示す。

★補正予算(第5号) こんな質疑がありました

《向新田線道路改良舗装事業》
【問】社会資本整備総合交付金の充当困難による事業への影響は。
【答】開発業者の工事内容は若干遅れるかもしれませんが、大きな影響はないと考えます。
《公園維持管理事業》
【問】400万円増の要因は。
【答】全体で88公園を調査し22公園で56本の危険木、17本の支障木を伐採、剪定したことによるものです。
《小学校・中学校校舎等補修事業》
【問】事業費の内容は。
【答】緊急の対応として工事請負費が主です。小学校約458万円の増、中学校約553万円の増です。
《小学校・中学校校舎等改修事業》
【問】事業費の内容は。
【答】校舎内照明のLED化の設計費用で、小学校180万円、中学校90万円です。
《文化財・天然記念物保護事業》
【問】240万円増の要因は。
【答】内訳は、滝沢市さんさ踊り、大沢さんさ踊りの周知パネルの作成、カワンジュガイの看板、市の指定天然記念物である田村神社の杉の木の診断料です。
《チャグチャグ馬コ馬資源確保事業》
【問】委託料の内容は。
【答】滝姫の子馬の預託料1年分で、子馬は市有馬として預託します。

探択川前学童保育クラブ 施設移転・新築を求める陳情書
【陳情項目】
1 立地場所の問題による災害時の危険性を解消すること(冠水、浸水、土砂崩れ)
2 施設の老朽化による破損や耐久性の問題を解消すること
3 下校時の安全確保の問題を解消すること
4 同じ小学校区にある学童クラブとの格差是正をすること

★総括的審査

《行政手続きにおける個人情報の保護》
【問】要配慮個人情報である避難行動要支援者名簿の保管・管理方法について、自治会、自主防災組織の責任者に対し実施している指導方法は。
【答】「避難行動要支援者支援計画推進マニュアル」を配布し、秘密の保持や名簿の適正管理、目的外利用と名簿の複製および転写をしないことの厳守など、慎重な取り扱いをお願いします。
《職員の加重勤務》
【問】職位別、課別の時間外の実績の昨年との比較は。
【答】職位別の差はありませんが、マイナンバーや選挙の関係で市民課や総務課が増えました。職員1人あたりの平均時間外勤務が月20時間を超える課は、市民課、総務課、企業振興課、児童福祉課、高齢者支援課および学校教育指導課です。若い年齢層で残業が増えており、庁内の月平均残業時間は、3年度12時間、4年度13時間です。
《公共交通の利用促進》
【問】福祉バスの運行について、市民アンケートや聞き取り調査による検討は。
【答】公共交通の利用促進の観点でのアンケートは実施していません。
《「生きる力」を育てる学校教育の充実》
【問】不登校児童生徒数の増加と学力低下について、市で取り組んだ内容は。
【答】学力向上の対策としては、学習意欲の高揚や基礎学力の確実な定着、また、指導力を高める教員への研修の充実、それに合わせた指導と評価の一体化が重要と捉えています。不登校対策としては、豊かな心の育成やより良い人間関係づくりの推進が必要と捉えています。道徳教育や体験的な学習の充実とともに、不応の未然防止や不登校児童生徒解消対策

★討論

認定第2号 4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
【反対】 仲田 孝行 議員 (日本共産党)
本決算案は、総額が前年度比1.8%、約8,900万円減の48億4,500万円余で、歳入面では健康保険税が前年比微減の8億5,100万円余となっており、県支出金は前年度比1億700万円減の34億6,700万円余と、被保険者の負担割合に若干の悪化がみられました。子どもの均等割負担については、納税能力のない子どもへの徴税で、中世時代の人头税と同じであり、一刻も早く廃止されるべきと考え本決算認定に反対します。
【賛成】 奥津 一俊 議員 (会派に属さない議員)
近年の急速な高齢化の進展に伴い、本市においても、財政調整基金を取り崩しながらの予算編成は続くものと考えます。単年度収支においては、レセプト点検の徹底、ジェネリック薬品の差額通知などの医療費適正化の取り組み、被保険者の健康推進、保健指導に努力されていることなど、医療費の適正化や保健事業の推進に努められたことに対し評価しますが、さらなる医療費の抑制につながる政策に取り組むことを期待し、賛成します。

認定第4号 4年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
【反対】 川口 清之 議員 (日本共産党)
介護特別会計決算額は4年度41億3,658万円と3年度41億1,948万円に対し微増ですが、第1号被保険者保険料が10億2,220万円となっています。コロナ危機は、介護・医療・福祉など人間の命を守るケアの重要性を明らかにし、それを粗末に扱う政治がいかに有害であるかを浮き彫りにしました。公費の大幅な投入はもちろんですが、本市も独自の保険料の減免、利用料の補助等の支援策をとるべきと考え、反対します。
【賛成】 井上 仁 議員 (滝政会)
当市の65歳以上の人口は、昨年対比で237人、要介護認定者数も13人増加しており、介護給付費も3年度まで年々増加しています。4年度の介護サービス費減額は、適正な給付、予防などに取り組み重度化防止に繋がった成果と考えます。市民主体の活動支援や、普及啓発、相談支援体制の構築などの実施により、増加が見込まれる高齢者人口に対し、今まで以上の介護保険事業の適正化や介護予防事業の推進を期待し、賛成します。

【反対】 仲田 孝行 議員 (日本共産党)
私は、介護サービス費減額の要因は、介護サービス利用料がこれまでの1割負担から2割、3割負担に増えてサービスが利用したくても従来通り利用できなかったためと分析しています。よって、本認定案に反対します。

9月会議一般質問

安部 理絵 議員
【問】「子どもまんなか滝沢」を掲げる市として、子ども医療費完全無償化の対象年齢引き上げの考えは。
【答】重点分野の一つである「子どもまんなか滝沢」に基き、さらなる経済支援と子育て世代の定住に繋げることを目的とし、6年4月診療分から高校生等まで子ども医療費給付の所得制限を撤廃する予定です。完全無償化の対象拡大は、継続的に多くの費用が必要となるため、市の施策全体の中で優先度を考えながら判断します。
【問】約20箇所ある未改修遊具の改修予定は。
【答】劣化により現在使用禁止になっている「あすみ野団地」の3公園の遊具、計3基を今年度更新する予定です。
【問】改修順の決定方法は。
【答】一般街区公園は遊具点検の結果に基づき、使用禁止とした遊具を優先に地元自治会と協議し、合意のうえ、改修および更新を行います。しかし、現時点で設置から30年以上経過した遊具が全体の約6割を占め、10年後には約9割となる見込みのため、今年度公園施設整備の優先順位や判断基準を明確化した「滝沢市公園施設長寿命化計画」を策定し、より計画的に遊具の更新および改修を行います。

佐藤 澄子 議員
【問】5年9月8日から行われた「ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング」の寄付金の使途は。
【答】6年度のチャグチャグ馬コの実施、馬コの派遣事業や馬資源確保事業の拡充、その他、馬事文化の振興に活用しますが、滝沢市チャグチャグ馬コ同好会の意見なども踏まえ検討を進めます。
【問】馬資源の確保のために学校や企業、グループの新たな出馬者の検討は。
【答】企業などに事業の賛同を促し、新たな出馬者とすることは保存・継承に有効な方法の一つと捉えます。
【問】誘致にあたり岩手山噴火災害の危険性への対応は。
【答】「岩手山火山避難計画」など踏まえ、必要に応じ関係機関と連携し検討することになります。

9月会議一般質問

菅野 福雄 議員
【問】ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの返礼品は。
【答】インターネットサイトに掲載されている返礼品のすべてが対象です。
【問】ふるさと納税に係る経費の報告が必要となり、これらすべてが寄附額の50%以下になったこと。
【答】寄付金受領証明書に係る業務やシステム管理費など、募集に付随して発生する経費が報告が必要となり、これらすべてが寄附額の50%以下になったこと。
【問】市役所周辺の「特定大規模集客施設計画」の進捗状況は。
【答】10月に開発許可が下りる見込みで、許可後は速やかに造成工事に着手します。
【問】滝沢ニュータウン地区の再開発も含むのか。
【答】現在進めている中心地拠点商業地区の開発区域には含まれていませんが、整備が完了すれば周辺エリアの価値が上がり、新たな産業が生まれると期待します。
【問】自殺予防対策は。
【答】「第2次滝沢市自殺対策計画」に基づき、一次予防では「ゲートキーパー」の養成など、二次予防では精神保健相談などを行っています。
【問】自殺の経緯にはさまざまな要因があるため、庁内外の関係機関と連携し包括的に支援しています。
【答】自殺の経緯にはさまざまな要因があるため、庁内外の関係機関と連携し包括的に支援しています。

日向 裕子 議員
【問】滝沢市産業振興条例施行後、市民が地元事業者に対する理解を深め、市民主体の活動支援や、普及啓発、相談支援体制の構築などの実施により、増加が見込まれる高齢者人口に対し、今まで以上の介護保険事業の適正化や介護予防事業の推進を期待し、賛成します。
【問】市道修繕・防犯灯設置などについて
【答】市道修繕は、市の施策全体の中で優先度を考えながら判断します。防犯灯は、当該箇所の調査を行い、明るさや交通量、設置の間隔などを確認し優先度を評価し、対応しています。4年度は、設置の要望が40箇所、計画10箇所にに対し、18箇所に設置しました。

5年度(4~7月分)政務活動費を公開

政務活動費は、議員が調査研究等の活動を行う際に、必要な経費の一部として交付される費用です。
※月額15,000円/人 なお、市議会HPでは、政務活動報告書や収支報告書なども公開しています。
詳しくは、HPをご覧ください。



所属(人数)	交付額	執行額	執行率	主な活動項目	所属	交付額	執行額	執行率	主な活動項目
滝政会(4)	240,000	0	0%		田中 亜弓	60,000	0	0%	
滝沢市民クラブ(3)	180,000	46,000	25.56%	研修	奥津 一俊	60,000	0	0%	
一新会(2)	120,000	0	0%		菅野 福雄	60,000	46,000	76.67%	研修
公明党(2)	120,000	7,000	5.83%	資料購入	佐藤 澄子	60,000	0	0%	
新志会(2)	120,000	92,000	76.67%	研修	藤原 治	60,000	0	0%	
日本共産党(2)	120,000	25,250	21.04%	資料購入	合計	1,200,000	216,250	18.02%	

第2次滝沢市総合計画調査特別委員会

市総合計画の制定に向け、特別委員会を新たに設置しました。

【委員会名】第2次滝沢市総合計画調査特別委員会

【設置期間】5年9月4日~調査終了まで

【構成議員】委員長：日向 裕子

副委員長：藤原 治

委員：議長を除く議員

かっこのさえずり No.8

市民のみなさんの声をシリーズでお届けします。

僕のお父さんのようになりたい! by 息子 菅原 督一郎さん



プロフィール

- 雫石町出身
- 職業：看護師
- 第一子誕生後、滝沢市にマイホームを構える
- 子育て真っ最中のお父さん

七夕の短冊や保育園の誕生会で「将来は【お父さん】になりたい」と発表する6歳児を育てる菅原さんに日常を伺いました。

◎私が最も伝えたいこと

(1)子どもに尊敬される子育てとは

《菅原家の現状》

共働きの菅原家は妻が現在第三子の育休中で、家事と育児は夫婦で協力している。分担は決めず「できる方ができる事をする」を実行し、子どもからの要望に応え料理を作ることも多々ある。リクエストNo1はオムライス!

《子育てで心がけていること》

子どもたちのやりたいことに付き合い、全力で一緒に遊び、子ども目線(気持ちや高さ)で見ることも忘れない! 分からないことは子ども達と一緒に調べ、間違ったことを教えないようにしている!

(2)子育て世代から滝沢市へ望むこと

《地域格差》

医療費や学童保育のお金など、他市町との格差を無くして欲しい! 無償になるなら、もう一人子どもが増えてもいいかなとも思う。

《遊び場格差》

近所の公園に遊具が少なく、取り合いになっている! 雫石町にある御所湖広域公園乗り物広場のような公園が近くにあればいいなと思う。

《医療格差》

総合病院が欲しい! 以前子どもが急に立てなくなり、受診先に困った経験がある。

《支援体制》

障がい児ケアに力を入れて欲しい!

令和6年市民議会を開催

日時：令和6年1月28日(日)
9時~12時
皆さまのご参加をお待ちしています。



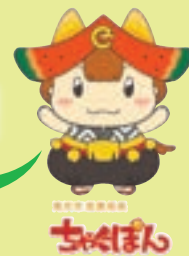
皆様のご意見をお聞かせください

議会だよりに関するアンケートを実施します。皆さまのご協力をお願いします。11/30まで



12月会議は12月7日~15日です 議会におでんせ!

傍聴者数 9月会議... 54名



滝沢市議会 検索

市議会のくわしい情報は、滝沢市議会ホームページをご覧ください。



議会事務局 〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼55 TEL.019-656-6591 FAX.019-684-4195
https://www.city.takizawa.iwate.jp/ E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp



9月会議一般質問

自由民主クラブ 鍵本 桂 議員
【問】国は、水道事業者である本市が浄水場や水道管などの施設の所有権を保持したまま、国内外の民間企業に運営権を売却するコンセッション方式を選択しやすいように法改正したが、水道事業で利益をあげようとする経済界や国からの要請への対応は。
【答】現状では民営化による課題の方が大きいと考えており、市の水道事業は公営による運営を継続

【問】本市の条例にコンセッション方式は採用しないと明記する考えは。
【答】条例に明記する考えはありませんが、今後も信頼され続ける水道をめざして水道事業を運営します。
【問】どの市町村よりも早く市役所内のDX化、AI導入を表明し、試験導入の名目で導入に係る費用を国や県に負担してもらう考えは。
【答】市が議員定数の増減について判断するものではないと認識しています。

【問】現在国と県には対応する補助メニューがないため、DX推進に向け動向を注視します。
【問】議会もDX化により人的負担を軽減し、少人数での運営が可能となるが、議会が議員定数を減らすことにより市として生じる問題は。
【答】市が議員定数の増減について判断するものではないと認識しています。



○水道事業民営化について
○市役所内のDX化とAI導入について等

滝政会 井上 仁 議員
【問】県事業である木賊川広域河川改修事業への本市の関わりは。
【答】平成23年度より早期完了を要望しており、情報共有を図りながら地域の皆様と県との3者で連携しています。
【問】事業内容、事業費の進捗と今後の対応は。
【答】内容は総延長6kmであり、遊水地整備が31haで、現在は第一遊水地の整備が進められています。また、事業費の進捗は。
【問】買収後の土地の管理状況は。
【答】買収が完了し、県で適正に管理されています。
【問】遊水地整備の具体的な計画は。
【答】2箇所の遊水地が計画されており、それぞれ毎秒80t、15tの軽減機となつていきます。

【問】買収後の土地の管理状況は。
【答】買収が完了し、県で適正に管理されています。
【問】完成後の浸水想定区域の減少見込みは。
【答】詳細なシミュレーションはしていませんが、50年確率の降雨までは浸水被害が発生しない計画となつていきます。

【問】通常時の用地の活用方法は。
【答】平成26年度に活用方法をとりまとめましたが、整備が進んだ段階にあらためて協議・調整の場が設けられます。
【問】木賊川広域河川改修事業との関わりについて
抄率は39.3%です。昨今は局地的な集中豪雨が多発しており、今後とも着実に事業推進が図られるものと認識しています。
【問】平成26年度に活用方法をとりまとめましたが、整備が進んだ段階にあらためて協議・調整の場が設けられます。



○木賊川広域河川改修事業との関わりについて
抄率は39.3%です。昨今は局地的な集中豪雨が多発しており、今後とも着実に事業推進が図られるものと認識しています。
【問】平成26年度に活用方法をとりまとめましたが、整備が進んだ段階にあらためて協議・調整の場が設けられます。